



▲未来づくり  
専門員の活動  
は Facebook  
で発信中です



正直二人では厳しいと思い  
ました。そこで、6月1日に大  
掃除をするので協力してほし  
いと呼びかけたんですが、土  
曜日の朝早くから20人を超え  
る人たちが手伝いに来てくれ  
ました。

**山中** 途中参加の方も含めると最終的には30人以上集まっ  
たんじゃないかな？休日を  
使ったのでただの大掃除が、と  
ても楽しい一日になりました。

**井上** 掃除をしていると下校中  
の子どもたちが不思議そうに  
覗きこんできます。ペンキ塗  
りは手伝いに来てくれると  
言ってくれました（笑）

**山中** 雨戸を外したのは10年  
ぶり。久しぶりに明かりが灯  
ると、家に命が吹き込まれた  
ような感じがした。

**空き家を活かすことが  
魅力に気づくきっかけに**

**山中** 今後は、水回りなど専  
門業者しかできない部分は委  
託しますが、壁や床など自分  
たちでできる範囲は、自分た  
ちを中心に地域の方たちや学  
生、子どもたちなど、たくさ  
んの人と一緒に作り上げたい

と思っています。

**井上** 壁にペンキを塗った  
り、机やイスを作ったり、自  
分たちができる事は自分たち  
で作っていききたい。そして町  
のみんなで作った場所、  
錦江町に来てくれた人をおも  
てなしできたら楽しそうじゃ  
ないですか？

**山中** 今回のプロジェクトで  
「空き家をゲストハウスにす  
る」だけで錦江町に大きな変  
化を起こすことはできないと  
思います。でも、このゲスト  
ハウスをきっかけに訪れる  
人が増えて、錦江町の魅力を  
もっと知ってもらえれば、  
いいなと思うんです。

**井上** ゲストハウスは、地域  
の人たちがいて初めて成り立  
つ宿泊施設なんです。二人だ  
けでは錦江町の良さを伝えら  
れないので完成に向けてみん  
なで取り組みたいです。

**山中** 秋ごろから壁のペンキ  
塗りや床の張替え、家具作り  
を始める計画です。子どもか  
ら大人まで、みんな楽しく  
作業したいと思っています。こ  
れからの活動はフェイスブッ  
クで公開していきます。

# 空き家をゲストハウスにリノベーション 泊まれる「タマリバ」作ります

昼間は、ふらっと気軽に立ち寄れるカフェ、子どもの宿題スペース、  
夜は宿泊客と地域の人がつくり語れる居酒屋。そんな、自然と人が  
集まる「たまり場」のようなスペースを目指しています。



1 30人以上参加して大掃除を実施2 「人が集まる場所」をテーマに計4回  
のワークショップを開催3 どのように活用したいか参加者それぞれが思い描  
いた平面図4 平面図から模型を作成してイメージを形に近づけていく



「旧浜園商店」 大根占中央商店街内

## 空き家リノベーションプロジェクト

空き家という未活用財産を10年間借上げ、改修して宿泊施設や交流スペースとして再活用するモデル事業。改修は町が行うが、運営は民間が行う「公設民営」となる。未来づくり専門員を中心に活用方法を検討しながら、これからの空き家活用を考える。

人と人のつながりから  
まちの魅力を発信する

**山中** 空き家リノベーション  
プロジェクトの1軒目となる  
「旧浜園商店」は、ゲストハ  
ウスと呼ばれる簡易宿泊施設  
にしたいと考えています。ゲ  
ストハウスを利用する人は、  
基本的に素泊まりが多いので、  
必然的に近所のお食事処や地  
元のおすすめポイントなどを  
紹介することが多くなります。  
その結果、情報発信基地のよ  
うな存在になっていくことが  
あるんです。

**井上** さらに、泊まるだけで  
はなく、飲食店、待ち合わせ  
場所、休憩所のような機能も  
持たせることができるんです。  
子どもの宿題スペースがある  
ゲストハウスも多くあります。

**山中** 昼間は地元の人や年齢  
や性別に関係なく、気軽に立  
ち寄ってまったり交流できる  
カフェとか、夜は宿泊者と地  
元の人や飲める「たまり場」  
みたいな場所になれば、地域  
も盛り上がりながら、人を呼  
び込めると思うんです。

**井上** そうそう。旅行者だけ

でなく、地元の人や毎日気軽  
に立ち寄れる宿みたいなイ  
メージですね。

**山中** あと、「その地域の人た  
ちと交流したい」と思って利  
用する人が多いんです。宿で  
はありながら、誰もが気軽に  
立ち寄れる場所ですね。

**井上** 僕がゲストハウスを作  
りたいと思ったきっかけは、  
学生が店長をするゲストハウ  
スに出会ったからです。そこ  
では、知らない人同士が会  
い、自然とコミュニケーション  
が生まれ、いつの間にか人  
が集まる「場」ができていま  
した。驚いたのと同時に、こ  
のようなやり方で人がつな  
がっていくことに感動したん  
です。「自分もゲストハウスを  
通じて地域を盛り上げたい」  
という思いが強くなり、すぐ  
に全国のゲストハウスをヒッ  
チハイクで巡ったんです。15  
カ所回りました（笑）

**10年の止まった時間が  
再び動き出すとき**

**井上** 5月から旧浜園商店の  
掃除も始めたんですが、家具  
などかなりの荷物があって、